

箱根の状況について(続報)

まずは箱根の状況への対応の続報です。

6月30日、気象庁による火口周辺警報のレベル3への引上げを受けて、箱根町では大涌谷周辺半径1キロに入山規制の措置をとりました。収束の兆しも感じられていた中のことで、大変無念に思います。

当所の対策本部「箱根活性化会議」を通じての動きを報告いたします。

1. 正しい情報収集と共有

- 1) 外部からの問い合わせに役立てていただくよう質疑応答のサンプルを、レベル3に合わせて更新しました。添付しましたので、ご活用ください。
- 2) 職員が会員事業所を巡回して業況(売上や客数など)を伺っております。町や箱根町観光協会などとも連携しながら、月一で集計・分析をしています。
- 3) 7月9日に温泉地学研究所から講師を招いて、直近の状況も含め当地の火山についての勉強会を開催しました。(時間:14:00-16:00 場所:小田原箱根商工会議)

2. 誘客のためのアクション

大々的なキャンペーンがやりにくい状況ですので、広い意味のロコミ作戦を進めていきます。箱根町観光協会とも綿密に連携をとりながら進めていきます。

- 1) 8月7日に当所主催のゴルフコンペを開催します。地元の各経済団体、県下ならびに関東ブロックの商工会議所のお声がけしています。箱根に来ていただき、「いつもどおりよかったよ!」と広めていただくという狙いです。
- 2) 同じく、それらの団体に夏の研修会などで箱根を使っただけのようをお願いしてまいります。

3. 資金的な経営支援

- 1) 県、町、市(準備中)の緊急融資制度が利用できます。
- 2) 地元の金融機関とも連携し、担保や金利のことも含め小まめな対応をお願いしています。2月に立ち上げた県西地区中小企業支援ネットワークとも連携してまいります。
- 3) 従業員の出勤調整の際には国の「雇用調整助成金」が、一定の条件はありますが、使えます。

7月15日には、以上の支援策についての説明会を開催します。(時間:14:00-15:00、会場:町立箱根湿生花園)

詳細は下記サイトをご覧ください。

<http://www.odawara-cci.or.jp/information/20150715.html>

長期化も懸念される中、小田原、箱根全体で力を合わせ、この難局を乗り越えてまいりましょう。お困りのことはまずは当所へご一報ください。

会頭 鈴木悌介